

	九州大学 保健系分野（薬学）
学部・研究科名	薬学部（創薬科学科（4年制）：50名、臨床薬学科（6年制）：30名） 薬学府創薬科学専攻（M：55名、D3：12名）、臨床薬学専攻（D4：5名）
沿革・設置目的	九州大学医学部薬学科を経て、薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、昭和39年、九州大学薬学部が設置された。 昭和24年（1949年）新制九州大学設置 <u>昭和39年（1964年）九州大学薬学部設置</u> 昭和43年（1968年）九州大学大学院薬学研究科設置 （平成12年（2000年）薬学府及び薬学研究院に改組） 平成16年（2004年）国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医学・歯学・薬学・保健学が協働し、それぞれの専門性に立脚した多職種間連携教育により次世代を担うグローバル人材を育成し、産学官連携開放型の国際ライフイノベーション拠点として、先進的な基礎研究に裏打ちされた先進医療の研究開発と医療を推進する。 ○ 同一キャンパス内に位置する医学系・保健系との部局間連携や、創薬・育薬に関する研究単位を束ねた分野横断型の教育研究体制を活かし、創薬科学の視点から新領域を開拓できるグローバルな視野を持つ創薬研究者を養成するとともに、臨床薬学の観点から医療現場でサイエンスのできる薬剤師・臨床薬学研究者を養成する。 ○ 医療薬学、専門薬剤師教育に関する取組の実績や、他大学や学外医療機関等との連携による教育研究プログラム実施、学生交流や薬学教育者の育成等の実績を活かした取組を推進し、薬学教育の発展に貢献する。 ○ 分野横断的な取組や産学官の連携、国際研究交流や橋渡し研究といった学術的基盤の充実を元に、革新的な医薬品・診断マーカーの迅速かつ効率的な開発を目指す研究を初めとする独創的な研究（痛み研究拠点の経験を活かしたグリーンファルマ研究等）を推進するとともに、次代を担う人材の育成を進める。